

令和4年度 第4学年 国語年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	こんなところが同じだね 春のうた つづけてみよう 白いぼうし 図書館の達人になろう 春の楽しみ 聞き取りメモのくふう 話し方や聞き方から伝わること 漢字の広場1 思いやりのデザイン アップとルーズで伝える 考えと例 カンジーはかせの都道府県の旅1 漢字の広場2 一つの花 つなぎ言葉のはたらきを知ろう 短歌・俳句に親しもう(一) 要約するとき 新聞を作ろう アンケート調査のしかた カンジーはかせの都道府県の旅2	【知識及び技能】 ○日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようになる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
2	夏の楽しみ 事実にもとづいて書かれた本を読もう ランドセルは海をこえて 忘れ物 ぼくは川 あなたなら、どう言う パンフレットを読もう いろいろな意味をもつ言葉 漢字の広場3 ごんぎつね 秋の楽しみ クラスのみんなで決めるには 漢字の広場4 世界にほこる和紙 百科事典での調べ方 伝統工芸のよさを伝えよう 慣用句 短歌・俳句に親しもう(二)	
3	漢字の広場5 プラタナスの木 感動を言葉に 冬の楽しみ 自分だけの詩集を作ろう 熟語の意味 漢字の広場6 ウナギのなぞを追って つながりに気をつけよう もしものときにそなえよう 調べて話そう、生活調査隊 まちがえやすい漢字 初雪のふる日	
〈授業の工夫〉 ○学習のめあてを明確にし、単元のねらいに応じてグループ学習などの学習形態を取り入れながら言語活動を工夫します。 ○言葉の抑揚や強弱、語句、文や文章、言葉使いなど、日常生活に必要な国語の知識・技能の定着を図り、他教科との関連を意識できるようにします。 ○家庭学習で行ったことを学校で復習し、友達の意見を聞きながら共通理解を図ります。		
〈評価について〉 ○言葉の特徴や使い方、話や文章に含まれている情報の扱い方、我が国の言語文化に関する知識・技能を習得しているか。 ○日常生活における人と人との関わりの中で、思いや考えを伝え合う力を高め、思考力や想像力を養っているか。 ○言葉がもつよさに気付くとともに、言語感覚を養い、思いや考えを伝え合おうとしているか。 以上のことを、単元ごとのテストや授業での発言内容、ノート等の提出物、授業での発言内容、作文、発表、グループや学級全体での話し合い活動の様子などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○漢字の定着を図るため、漢字スキルや漢字スキルノート、漢字練習用ノートを使います。 ○物語文などでは、文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読ができるよう、『音読カード』を使って家庭学習を継続していきます。 ○幅広く読書に親しめるよう、ゆめのくに図書館の本や中央図書館図書ネット便を活用します。		

令和4年度 第4学年 社会年間学習計画

学期	学習内容	年間学習目標
1	1 わたしたちの東京都の様子 (1)都道府県を調べよう 2 住みよいくらしをつくる (1)水はどこから (2)ごみの処理と利用 3 自然災害から人々を守る活動 水害からくらしを守る(水害による災害)	【知識及び技能】 ○自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
2	4 東京都の伝統や文化、東京都の発展につくした人々 (1)受けつがれる祭り ～武蔵府中くらやみ祭～ (2)とどけよう命の水 玉川兄弟	【思考力・判断力・表現力等】 ○社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
3	5 東京都の特色ある地域の様子 (1)染め物のさかんな新宿区 (2)世界とつながる大田区 (3)ゆたかな自然を守り生かす小笠原村	【学びに向かう力・人間性等】 ○社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。
〈授業の工夫〉 ○地図帳や白地図を用いて自分たちの都道府県の地理的環境を理解し、47都道府県の名所と位置についての知識を定着させます。 ○東京都で使われる物の供給の仕組みや経路、生活を支える事業について見学・調査を行い、電気・ガス・水道は安全・安定的に供給され、健康な生活の維持と向上に役立っていることを指導します。 ○過去に起こった災害を知り、人々を守る施設や活動について調べたり考えたりするように指導します。		
〈評価について〉 ○単元ごとのテストや、調べ学習で資料を用いて必要な情報をまとめているかを評価します。 ○普段の学習での発言や考えの記述から適切な表現ができているかを評価します。 ○学習したことを振り返り、自分自身が暮らしている東京都について考えようとする意欲を評価します。		
〈学習方法など〉 ○インタビューや調べ学習、図書館の活用、インターネットの利用などから情報を得る活動を通して、学習に関心をもつことができるようにします。		

令和4年度 第4学年 算数年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	1 1億より大きい数を調べよう 2 グラフや表を使って調べよう 3 わり算のしかたを考えよう 4 角の大きさの表し方を調べよう 5 小数のしくみを調べよう ※考える力をのばそう ※そろばん	【知識及び技能】 ○小数及び分数の意味と表し方、四則の関係、平面図形と立体図形、面積、角の大きさ、折れ線グラフなどについて理解するとともに、整数、小数及び分数の計算をしたり、図形を構成したり、図形の面積や角の大きさを求めたり、表やグラフに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
2	6 わり算の筆算考えよう ※倍の見方 7 およその数の使い方や表し方を調べよう ※算数で読みとこう ※新しい算数プラス 8 計算のやくそくを調べよう 9 四角形の特ちょうを調べよう 10 分数をくわしく調べよう 11 どのように変わるか 調べよう	【思考力・判断力・表現力等】 ○数とその表現や数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方などを考察する力、図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力、伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式を用いて考察する力、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力などを養う。
3	12 広さの表し方を考えよう 13 小数のかけ算とわり算を考えよう ※どんな計算になるのかな？ 14 箱の形の特ちょうを調べよう ※考える力をのばそう ※算数で読みとこう ※4年のふくしゅう ※新しい算数プラス	【学びに向かう力・人間性等】 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○主体的に問題に取り組めるように、日常の事象から問題を取り上げたり、実際に測定するなどの活動を取り入れたりしていきます。 ○思考の援助として、具体物やプリント等を用意します。 ○図や式などを活用して問題解決の過程やその結果を分かりやすく表現し、ノートを見合いながら伝え合いを行うなど対話的に学べるようにします。		
〈評価について〉 ○既習の知識及び技能を踏まえて、基本的な数量や図形の概念及び意味、性質や数量関係、表やグラフなどの意味を確実に理解しているか、適切に数理的な処理や表現ができる技能を確実に習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」で身に付ける力を用いて問題解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりしているか。 ○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えているか、学習したことを生活や学習に活用しているか。 以上のことを單元ごとのテストや学習の様子、発表、ノートのとり方やコンパス、分度器、定規の使い方などを基に評価します。		
〈学習方法など〉 ○算数の学習内容の定着を図るために、既習内容の復習プリントを継続的に取り組みます。 ○計算処理の確実な定着を図るために、ドリル学習やプリント学習を繰り返し行い、多くの問題に触れることができるようにします。 ○個に応じた指導を行うため、学習内容ごとにレディネステストの結果をもとに習熟度別少人数指導を実施します。		

令和4年度 第4学年 理科年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	季節と生き物の様子 あたたかくなって 1日の気温と天気 空気と水 電気のはたらき 雨水の流れ 暑い季節 夏の星	【知識及び技能】 物質・エネルギー ○空気、水及び金属の性質、電流の働きについての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 生命・地球 ○人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星についての理解を図り、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
2	月や星 すずしくなると 自然の中の水 水の3つのすがた ものの体積と温度 冬の星	【思考力・判断力・表現力等】 物質・エネルギー ○空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。 生命・地球 ○人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、主に既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想する力を養う。
3	科学者の伝記を読もう 寒さの中でも もののあたたまりかた 人の体のつくりと運動 4年生で学んだこと	【学びに向かう力・人間性等】 物質・エネルギー ○空気、水及び金属の性質、電流の働きについて追究する中で、主体的に問題解決しようとする態度を養う。 生命・地球 ○人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境との関わり、雨水の行方と地面の様子、気象現象、月や星について追究する中で、生物を愛護する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う。
〈授業の工夫〉 ○自然の事物・現象から見いだした問題について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を考えることで、問題解決の力を育成します。 ○自然の事物・現象について、理科の見方・考え方を働かせ、問題を追及する活動を通して、学習内容の理解を図ります。 ○観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けられるよう、継続的に観察し、記録していくことを大切にします。 ○生物を愛護する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育てます。		
〈評価について〉 ○单元ごとのテストによる評価と合わせて、観察・実験の計画や予想、結果などを記したノートやワークシートの記録、授業中の発表から評価します。 ○関係付けて調べる活動を通して、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を表現したことを評価します。 ○観察や実験に対する態度や発言などから、主体的に問題解決しようとする態度、生命を愛護する態度を評価します。		
〈学習方法など〉 ○気温と天気、空気と水など身の回りの科学的事象など、学習したことと、日常で経験していることを関連させて取り組ませます。 ○学習の定着を再確認するために、タブレットを活用し、視覚的に学んでいきます。		

令和4年度 第4学年 音楽年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	○音楽で心の輪を広げよう 花束をあなたに リズムでなかよくなろう さくらさくら ○歌声のひびきを感じ取ろう いいこと ありそう パパゲーノとパパゲーナの二重唱 歌のにじ せんりつづくり まきばの朝 ○いろいろなリズムを感じ取ろう 風のメロディー クラッピング ファンタジー 楽しいマーチ いろんな木の実 ピーナッツ ベンダー 言葉でリズムアンサンブル	【知識及び技能】 ○曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、表したい音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ○進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。
2	○ちいきにつたわる音楽に親しもう こきりこ ○せんりつのとくちょうを感じ取ろう 陽気な船長 ゆかいに歩けば とんび 白鳥／堂々たるライオンの行進 ○せんりつの重なりを感じ取ろう パレード ホッホー ファランドール オーラ リー もみじ ○いろいろな音のひびきを感じ取ろう 打楽器の音楽 茶色の小びん メヌエット／クラリネット ポルカ	
3	○日本の音楽でつながろう こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」より 津軽じょんがら節／ていんさぐぬ花 ことをひいてみよう 2人でせんりつづくり ○曲の気分を感じ取ろう 卒業式の曲 山の魔王の宮殿にて 朝の気分	
〈授業の工夫〉 ○自分の表したい音楽表現ができるように、段階的に学習します。 ○様々な音楽に親しみ、曲や演奏のよさを得られる教材を用意します。 ○友達と音楽活動をする楽しさを大切にしながら、自分の感じたことや表現を進んで伝え合う場を多く設定します。		
〈評価について〉 ○題材の表現や技能だけでなく、進んで音楽活動に取り組んでいるかを評価します。 ○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするか思いや意図をもって工夫している様子を学習カードや音楽活動を通して評価します。 ○友達との音楽活動を楽しみながら進んで取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があつてを認めたりする様子进行评估します。		
〈学習方法など〉 ○感染症対策を十分に行いながら、様々な活動方法を工夫します。 ○長期休業中には、技能習熟のためにリコーダーを持ち帰り、家庭練習をするように計画します。		

令和4年度 第4学年 図画工作年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	まぼろしの花 光とかげから生まれる形 おもしろアイデアボックス 絵の具でゆめみよう	【知識及び技能】 ○対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かっている。手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
2	ゆめのまちへようこそ わすれられないあの時 ギコギコクリエイター 森の芸術家 ゴーゴードリームカー	【思考力・判断力・表現力等】 ○形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考えるとともに、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。
3	からだでかんしょう みつけたよためしたよ つつんだアート 立ち上がれねん土 ひみつのすみか トロトロカチカチワールド	【学びに向かう力・人間性等】 ○つくりだす喜びを味わい進んで表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
〈授業の工夫〉 ○主体的・意欲的に造形活動に取り組めるように、毎時間「めあて」を示し、見通しがもてるようにします。 ○各学年の発達段階に応じて、題材を組み立て、表現の楽しさを味わえるようにしていきます。		
〈評価について〉 ○一人一人の活動の様子や作品の制作過程から、本人の思いや創意工夫を見ていきます。 ○一人一人が見方や感じ方を広げていけるように、鑑賞の時間を設定し、記述内容を見ていきます。 □2学期の評定は、1学期の評価も加えて行います。		
〈学習方法など〉 ○児童の作品を定期的に廊下へ掲示し、友達の作品のよさを学び合える環境作りをしていきます。		

令和4年度 第3・4学年 体育年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	体ほぐし運動 体の動きを高める運動(柔軟・巧み) かけっこ・リレー 体力テスト 多様な動きをつくる運動 運動会に向けて 水泳の安全について・水泳運動 高跳び(4年) 幅跳び・投の運動(3年)	【知識及び技能】 ○各種の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や発育・発達について理解するとともに、基本的な動きを身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付け、その解決のための方法や活動を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○各種の運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで努力して運動をする態度を養う。また、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組む態度を養う。
2	短距離走・リレー 保健 心の健康 鉄棒運動 ゴール型ゲーム(ポートボール等) ベースボール型ゲーム(ティーボール等) マット運動 体力を高める運動 保健 健康な生活(3年)	
3	体の動きを高める運動 (柔軟・巧み・力強さ・持続) 持久走 跳び箱運動 ネット型ゲーム(ソフトバレー等) ゴール型ゲーム(タグラグビー等)	
〈授業の工夫〉 ○基礎的な体力や運動感覚を身に付けるための運動を繰り返し行い、体力や技能を伸ばします。 ○各種の運動について、みんなが楽しめるようなルールや動きを考えたり、伝えたり工夫することを重視します。 ○勝敗や競争(走)を取り入れたり、学習カードなどに記録を記載したりすることで技能の向上や体力の高まりが感じられるようにします。		
〈評価について〉 ○運動技能や知識のほか、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性を評価します。 ○運動の楽しさを味わうための工夫や、自分の能力に応じた目標に向けた努力の様子を評価します。また、学習カードも用い、自己評価や児童相互の評価をする。		
〈学習方法など〉 ○授業時間は運動量をしっかり確保します。ICT機器や教材を用いながら自己の課題をつかみ、課題にあった活動を選択することで、課題解決に取り組みます。また、考えたことを友達に伝える活動を取り入れ、学び合いの時間を大切にします。		

令和4年度 第4学年 外国語活動年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	Let's Try!2 Unit 1 Hello, world! 世界のいろいろなことばであいさ をしよう Let's Try!2 Unit 2 Let's play cards. すきな遊びをつたえよう Let's Try!2 Unit 3 I like Mondays. すきな曜日は何かな?	【知識及び技能】 ○外国語を通して、言語や文化について体験的に 理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に 気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣 れ親しむようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ○身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり 話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力 の素地を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ○外国語を通して、言語やその背景にある文化に対 する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外 国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 を養う。
2	Let's Try!2 Unit 4 What time is it? 今、何時? Let's Try!2 Unit 5 Do you have a pen? おすすめの文房具セット つくろう Let's Try!2 Unit 6 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう Let's Try!2 Unit 7 What do you want? ほしいものは何かな?	
3	Let's Try!2 Unit 8 This is my favorite place. お気に入りの場所を しょうかいしよう Let's Try!2 Unit 9 This is my day. ぼく・わたしの一日	
〈授業の工夫〉 ○CDやDVD、英単語カードの活用、対話的な活動を多く取り入れ、児童が楽しめる授業をめざします。 ○ALTと協力し、主にコミュニケーション能力の育成をめざします。		
〈評価について〉 ○活動の様子や振り返りカードから、聞いた音を模倣して話そうとしているか、学習した言葉を使って話そうと しているか、相手の顔を見て明瞭な声で話そうとしているかなどを評価します。		
〈学習方法など〉 ○外国語活動では、英語音声や文字などをたくさん聞かせたり、見せたりすることを多く行い（インプット）、英 語で「伝えたいな!」「話したいな!」と思う気持ちを育てます。そして、英語を使って自分の思いを音声や文字に 表して伝える活動（アウトプット）を行っていきます。		

令和4年度 第4学年 特別の教科 道徳年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	道徳の時間とは 個性の伸長 礼儀 親切、思いやり 友情、信頼 善悪の判断、自律、自由と責任 節度、節制 生命の尊さ 公正、公平、社会正義 相互理解、寛容 よりよい学校生活、集団生活の充実 自然愛護 規則の尊重	(「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2の(2)に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 【第3学年及び第4学年重点目標】協働 ○身近な人と協力し助け合うこと ○集団や社会のきまりを守り、正しいと判断したことを進んで行おうとすること
2	よりよい学校生活、集団生活の充実 正直、誠実 友情、信頼 善悪の判断、自律、自由と責任 相互理解、寛容 感謝 生命の尊さ 家族愛、家庭生活の充実 公正、公平、社会正義 親切、思いやり 規則の尊重 勤労、公共の精神 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善 希望と勇気、努力と強い意志 感動、畏敬の念	【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方について考える】 という3つの観点を想定し、教材に応じてそのうちの2つの観点を取り上げている。 (1) 年間を以下の4つの「学習のまとまり」に分けています。 ・4月から5月の学習のまとまり…自己を見つめる。 ・6月から9月の学習のまとまり…他者との関わりを見つめる。 ・10月から12月の学習のまとまり…成長する自己と向き合う。 ・1月から3月の学習のまとまり…より広く人や社会との関わりについて考える。
3	正直、誠実 個性の伸長 節度、節制 生命の尊さ 家族愛、家庭生活の充実 勤労、公共の精神 感謝	(2) 学習指導要領に示された内容項目(第3・4学年)は、それぞれの学年において網羅されています。
〈授業の工夫〉 ・道徳の授業では、生活経験の異なる児童一人一人が教材文の登場人物の生き方について話し合って考えることを通して、自己の生き方についての考えを深めていくことを大切にします。 ・道徳ノートの活用を通して学習の連続性を重視し、振り返りや自己評価、道徳的価値の理解を深める一助とします。		
〈評価について〉 道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」が実現できていたかを評価します。そのために、授業中の発言や話し合いの様子、ノートやワークシートへの記述をもとに肯定的評価をします。		
〈学習方法など〉 教科書とワークシートを使って学習します。 学習の流れ ①教材文の状況を把握する②登場人物の思いを共通理解する③授業の中心で考えさせたいこと(場面)について、より深く話し合えるよう話し合い活動を行う。④これまでの自分を振り返り、自己を見つめる。		

令和4年度 第4学年 総合的な学習の時間年間学習計画

学期	学 習 内 容	年 間 学 習 目 標
1	<チャレンジ 調べる学習> 調べ学習について知り、自分たちで選んだテーマに沿って本やインターネットで調べまとめる。 <都道府県調べ> 社会科の学習と関連付け、都道府県の特徴を調べる。本やインターネットから調べて分かったことをまとめる。	【知識及び技能】 ○自分の生活や身近な地域にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ○自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
2	<いろいろな国のことを知ろう> 自分の成長の様子や将来の夢、豊島区の産業について考えたり調べたりする。 調べたことをもとに、自分史を作ったり発表したりする。 <すくすく育て わたしの体> 地域の安全な暮らしについて考え、地域安全マップを作り、伝える。110番の家を調べ、お礼の手紙を渡しに行く。 <今やろう 防災アクション> 大地震が発生した時、危険を予測し、自分の命を自分で守ることができる力を育む。	【学びに向かう力・人間性等】 ○自分の生活や身近な地域についての探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を養う。
3	<誰もが関わり合える町を目指して> 障害者福祉・高齢者福祉を調べる活動を通して、誰もが関わり合うことの大切さやよさに気づき、そこに関わる人々の思いを知り、自分にできることを考え実践する。	
〈授業の工夫〉 ○学習を振り返ったり、深めたり、広げたりすることができるよう、個別学習だけではなく、グループ学習の場を設定します。 ○ICTを活用して調べ学習を行ったり、発表したりします。 ○体験学習を大切にして、他教科と関連させて学習を進めます。		
〈評価について〉 ○テストは行わずに、発表やプレゼンテーションなどの表現、話し合い・学習や活動の様子、ワークシート・ノート・絵などの制作物のまとめ方、児童の自己評価や相互評価などを評価します。 ○通知表には、活動の様子や児童が努力していたところを文章で記述します。		
〈学習方法など〉 ○以下の探究的な学習の一連の過程を繰り返していきながら、自己の課題を解決していきます。 ①課題の設定…体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもちます。 ②情報の収集…各教科等で身に付けた資質・能力を生かしながら、必要な情報を取り出したり、収集したりします。（自分で見る・人から聞く・図書やインターネットで調べるなど） ③整理・分析…収集した情報を、整理したり分析したりして思考します。 ④まとめ・表現…気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、表現します。		